

科目名	英語音声学1			ナンバリング	COM251	授業形態	講義
対象学年	3	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	西村康平	担当教員					

授業の概要	英語の音声学的特徴を日本語と比較しながら理解し、リズム、イントネーション、アクセント、調音器官、調音の仕組み、母音、子音、環境による発音の変化などの重要な事項についての知識を得る。また、講義での発音・聞き取り練習を通して、こうした知識を自身の英語の発音や聞き取り能力の向上に反映させ、実践的な英語運用能力の獲得を目指す。						
到達目標	1.英語の音声学的な特徴を理解し、日本語と比較しながら説明することができる。 2.音声学的な知識を自身の英語の発音、聞き取り能力の向上に役立てることができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	講義内容の予習・復習において、必ず自分自身で英語を発音し、理解を確かめること。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
		4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1.英語の音声学的な特徴を理解し、ある程度の説明を行うことができる。 2.音声学的な知識を自身の英語の発音、聞き取り能力の向上にある程度役立てることができる。	1.英語の音声学的な特徴を理解し、日本語との違いを指摘しながら明確に説明を行うことができる。 2.音声学的知識を自身の英語の発音、聞き取り能力の向上に役立て、英語らしい発音をすることができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
授業態度・授業への参加		○	○	○		○	40%
中間・期末テスト	○	○			○	○	60%

課題、評価のフィードバック	中間テストおよび期末テストは採点の上、返却する。
---------------	--------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	イントロダクション	講義の概要説明 英語音声学の目的、重要性	
	第2回	Unit 1: リズムとアクセント(1)	ピッチアクセントとストレスアクセント	
	第3回	Unit 1: リズムとアクセント(2)	英語と日本語のリズムの違い	
	第4回	Unit 2: リズムの担い手と強勢パターン(1)	内容語と機能語におけるアクセント	
	第5回	Unit 2: リズムの担い手と強勢パターン(2)	複合語と句の強勢パターン	
	第6回	Unit 3: イントネーションと意味(1)	イントネーションの基本	
	第7回	Unit 3: イントネーションと意味(2)	対比強勢とイントネーション	
	第8回	まとめ／中間テスト	第2回から第7回までの講義内容を確認し、それらを範囲とした中間テストを行う。	
	第9回	Unit 4: 発音の仕組み(1)	調音器官／有声と無声／子音と母音	
	第10回	Unit 4: 発音の仕組み(2)	母音の分類	
	第11回	Unit 4: 発音の仕組み(3)	子音の分類	
	第12回	音声学の重要概念(1)	音節とモーラ	プリントを配付する。
	第13回	音声学の重要概念(2)	音声記号の注意点	プリントを配付する。
	第14回	音声学の重要概念(3)	音素と異音	プリントを配付する。
	第15回	まとめ	第9回から第14回までの講義内容を確認する。	
	試験	第9回から第14回までの講義内容を範囲とした期末テストを行う。		
授業の進め方		テキスト、配布プリントに沿って進める。毎回の講義の最後に次回での範囲を示すので、予習を行っておくこと。		
授業外学習の指示		【予習】テキスト等の該当部分を確認し、内容を把握しておく。(90分) 【復習】講義でのポイントを確認した上で、英語発音の練習を行う。(90分) (授業外学習時間： 毎週 180 分)		

教科書	1.『こうすれば英語が聞ける Ways to be better listeners』 中郷安浩・中郷慶 著、英宝社、 ISBN: 978-4-269-63022-2 2. 配布プリント
参考書	
参考URLなど	
その他	講義に関する連絡事項等はManab@IMUに掲載する。随時確認すること。